

令和2年度 学校運営協議会議事録（第4回）

日 時	令和2年12月7日(月) 午後13時30分～午後15時				
会 場	祇園小学校 会議室	司 会	熊田会長	記 録	村 上
参加者	熊田裕子会長 鹿倉清子副会長 浅和勝明様 吉住齊様 羽入由希子様 石川知子様 服部由佳様 秋山貴子校長 膝附和彦教頭 熊倉悠気教諭 村上昭美教諭				
議 事 内 容					
1 開会	【会長あいさつ】 熊田 コロナの第3波が来てしまって不安もある中、学校に影響がないのは安心した。距離を取っての話し合いがよろしく願います。				
2 話し合い	【情報交換】 ①今までの取組の成果と課題等 熊田 コロナウイルスが拡大している中で、内容を縮小しながらの活動だったと思う。 ●11月30日の <u>小中合同クリーン活動</u> は、楽しく活動できた。地域の参加も昨年より少し増えたように見えた。 鹿倉 小学生が中学生に面倒を見てもらえるのが嬉しそうだった。二中学生が甲斐甲斐しく小さい子の面倒を見ていた。40分間という短い時間でも十分な活動ができて良かった。 石川 ペンギン公園は、落ち葉が多くて大変だった。5年生と二中学生がとてもいい雰囲気活動していた。子どもたちの交流の場としてみるといい場だと思った。地域の方が1～2名来てくださっていた。子どもたちが話しかけてくれて、自分も楽しかった。 羽入 祇園原の横周辺。2年生が活動していた。中学生が小さい子の面倒を見ている姿が良かった。お年を召した男の方が作業をしてくださっていた。新しい地区の方か。回覧を見て関心を持ってきてくださっているのかもしれない。知らない方だが、年々参加が増えているように思う。 熊田 回覧を見て、今年で3年目だし、「今年もやるんだね。」という思いを持ってくださっているのかもしれない。 服部 今年初めて、PTAもこの時間に活動した。幼稚園周辺、祇園原公園で活動したという話を聞いている。もう少し、保護者も参加できるといいかと思う。普段ボランティアに来られない方が参加できる時間帯だったのかなとも思う 熊田 回覧で配るお便りを保護者に配れば良い。 服部 地域へのお便りと思い、学校PTAの活動として位置づけていることを知らないのではないか。回覧のお便りに、PTA会長さんの名前を入れても良いのではないか。 服部 回覧のお便りのデータをもらって、PTA会長名で保護者に配布する方法もある。PTAボランティア活動をクリーン活動当てて良かったのか。今までは、別日だった。持久走記録会のときに当てた方が人が集まりやすかったのか。 熊倉 地域の方3人くらい挨拶をした。希望としては、教え子達がいたので、中学生は卒業した学校区をきれいにさせても良かったのではないか。 熊田 小学生2校が混ざっているより、卒業学校区を清掃した方が、話も弾むのかなと思う。 秋山校長 来年度は、コロナの状況次第ということで。掃除の後、ビニル袋をたくさん学校に持ってきた。来年可能であれば、市環境課に連絡しておいてゴミの回収をお願いしておいていただけるとあり				

がたい。今回は、その日のうちに緑さんから連絡を入れていただいた。

自治会で定期的にクリーン活動を行っていたという話を聞いた。今はどうなのか。

浅和 ゴミは、ほとんど中学生が持ち帰っていた。

秋山校長 学校のゴミ収集は、環境課が行っている。学校が直接環境課に連絡してしまった方が、動きやすいかもしれない。

石川 地域の共同活動という名目に行っているのであれば、学校教育課と環境課が一つになって活動を推し進めていくというのはどうか。

秋山校長 下野新聞社が「来年は、ぜひ取材させてください。」と言っていた。

熊田 ゴミの回収(環境課)の件、取材の件、卒業生の担当場所の件の3つを校長先生同士で相談していただくということではよろしいか。

コミュセン協議会のルートがどれくらい使えるのか調べたい。

熊田 ●**スクールガード見守り**の方は、どうか。

服部 地区部から、スクールガードさんへの下校時刻の連絡は、今のままで良いかを聞いて欲しいと言われた。

浅和 自分たちは、下校よりも登校の時刻を教えて欲しい。急な変更のときだけ教えてもらえればいい。

服部 基本的に登校時刻は同じ。

秋山校長 登校時刻は、災害などがあつたときや修学旅行・遠足などのときに変わるくらい。

浅和 特別なときは、できるときにやるようにしている。今のままでできる。

服部 地区部から、「地区部の方で下校時刻を知らせる手紙を毎月出せないかと言われているが、それは、全員の希望なのか。実際はどうなのか聞いて欲しい。」と頼まれた。

ボランティアさんの中には、アドレス登録をしてLINEでつながれる方が結構いるのではないかと。地区部が登録を把握しておき、学校の一斉メールにボランティア枠をつくり登録(はじめは大変でも確立してしまえば)すれば、急な連絡も可能になるのではないかと。

熊倉 保護者とは別枠で作成し、学校から配信することは可能。情報担当に確認する。

服部 そこを地区部と連携してやれるといいと思う。

秋山校長 一斉メールは、緊急用なので、緊急のときでいいか。毎月、できない。

熊倉 添付はできる。

服部 ボランティアさんがアクセスする権利が会長にある・・というのであれば、PTAの方でできる。しかし、それはできないから、学校にお願いするしかない。個人でアドレスを集めたり、発信したりするのは難しい。

熊田 ホームページは、誰にでも見られてしまうので載せられない。

服部 月1回のお便りのように連絡を発信できればいい。

鹿倉 緊急メールを使い、スクールガード枠をつくって発信できるのならいい。しかし、学校の負担になるのではないかと。

服部 地区部長がアドレス帳をつくって、それを学校に一年に1回渡して、一括して読み込んでもらう。そのようにフォーマットを作成しておけばいい。ここまでは、地区部でやってもらうように連絡を取り合っておいてもらう。

秋山校長 スクールボランティア枠はある。そこに入れてもらうしかない。そこから、登録した方に送ることになるが、誰がやるのかということだけだと思う。使ってはいけないということではないが、緊急メー

ルなので、毎月の下校時刻や月で決められているものを送るものではない。職員の手間は増えることになる。

服部 地区部担当の先生にお願いする。

秋山校長 ここでは、登録と配信ができるかどうかを熊倉に確認してもらおうというところまでに。

服部 市の方で、PTAとボランティアをつなぐルート(カテゴリ)を作ってもらえるのであれば。

秋山校長 この件は、一旦預かりとし、やれるかどうかを確認させていただきたい。

服部 他の学校は、どのような形になっているのか。石橋地区は、人数がとても多いと聞いた。

熊田 地域の保護者でない方が結構登録している。主になる方がいて、その方が登録者に連絡している。しかし、グリーンクラブや西区にはそうでない方もいる。

服部 西区は、学校ボランティアに入っていない。社協の方で入っている。だから、ベストも違う色を着ている。見守っていただいているのはありがたいことなので、一緒に話し合えれば良いと思う。

熊田 緊急時や悪天候のときの登校時刻が伝われば良いということか。

浅和 今のままでも、大丈夫。さらに、非常時のことも分かればありがたい。

熊田 今の状態を維持しつつ、緊急時変更がメール登録でできるかを学校の方で確認していただくということでしょうか。

服部 年度初めに、地区部長から「学校から、ボランティアさんたちにFAXを送ってもらっている。」という話を聞いたが。

村上 登録されている方のFAX番号は教えていただけていないので、FAXは送っていない。交通指導員さんと学童関係のみにFAXしている。

熊田 ●**ギオンジャー**の活動はどうか。

鹿倉 11月6日ミシンボランティア、持久走記録会補助、消毒ボランティアの手伝いを行った。

服部 消毒ボランティアの再募集をしたところ、低学年保護者がたくさん入った。来年も継続できればよいと思う。

②今後の活動

熊田 コロナ対応をしつつ、今年と同じようなことができれば良いと思っている。

③学校評価の結果

膝附 ●学校評価結果の資料を提示の上、説明。

○保護者の回答について・・・前年度より得点が上がっている。

・質問8、9、10・H31と質問文が変わっているので、比較はR元とR2で見たい。

・結果に対し、学年で課題を2つくらい見つけ、改善策を考えてもらうことになっている。次の協議会で改善策を発表できると思う。

○教職員の回答について

・R元より上がったところ・・・Q3、Q20、Q53、Q55

・これから改善策をみつけていくところ

Q4: コロナの影響で、授業を見せ合う機会がなかった。

Q31: 話し合い活動は控えさせたので。

Q43、Q44: 縦割り班活動は行えず、クラブ活動も回数を少なくし、思うようにできなかった。

Q49:思うように活動できなかった。

・これからコロナの中での提案の(案)、改善の(案)を先生達に話し合ってもらおう。

熊田 児童・保護者の診断結果について感想はあるか。

膝附 4月、5月は学校に来られなかったなので、改めて学校は楽しいと思ってもらえたのかと思う。保護者も同じように感じたのではないか。

熊田 学校に行けなくて分かったこともある。自分も学校に定時に行かせることが一番大切だった。

鹿倉 教育が遅れる不安はあったと思う。学校教育が当たり前にあることが大切と改めて感じた。子どもの見回りがいいことも寂しく思った。

熊田 教職員の診断結果について感想はあるか。

石川 先生方の心身の健康の維持・増進のところがやや低め。先生方も大変な中、指導をがんばっている。これからも、健康に留意しながらがんばって欲しい。

熊田 いつもQ13は、低いようだが。

膝附 平成30年は、黒三角だった。昨年は、少し上がった。

熊田 働き方改革の成果が出たのだろう。

安全教育が上がったのは、この状況の中でもチャンスにつながったのでは。

秋山校長 年度の初めに、保健室窓の破損があり、先生達の安全対策への意識が高まった。

膝附 夏に、警察署から「消火器やホースを盗まれていないか。」との問い合わせがあった。盗まれてはいなかったが、西門に本校のものではない水ホースが1つ置かれていた。先生達、誰も置いていなかった。警察に話し、現在預かっている。

熊田 来年は、児童一人につき一台、タブレットが普及される。家に持ち帰れるので、宿題にも使えるかもしれない。

服部 下野市の子どもたち、みんなに配られるのか。

熊田 小中学生全員に配られる。

秋山校長 使用にあたり、事前に十分な指導が必要。また、職員で研修を重ねてから使用する。持ち帰るには、もう少し準備時間がかかるだろう。

熊田 活用できるようになれば、活動も幅が広がる。

秋山校長 SNS上の対策も考えていく。

熊倉 コロナの前には戻れない。学校生活の転換期なのかもしれない。スクールガードの連絡関係も、タブレットが入ることによって、システムが大きく変わるかもしれない。

④その他

膝附 第5回学校運営協議会 1月29日(金)10時～11時30分 給食なし。

トイレ改修工事:1年生フロアも終了。授業参観で保護者に見てもらおう予定。

閉 会